



『はしごの上で作業しない』『脚立にまたがらない』
～「はしご・脚立」の誤使用は大ケガにつながります～

1. 事故の発生状況

2017年度から2021年度の5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県ではしご・脚立による事故は合計14件^{※2}ありました。

(1) 県別および年代別事故発生件数(表1)

表1 はしご・脚立の県別および年代別事故発生件数(2017～2021年度)(単位:件)

年代	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
20歳代	0	0	0	0	0	1	0	0	1
30歳代	1	0	1	0	0	1	0	0	3
40歳代	0	0	0	2	0	0	0	0	2
50歳代	1	0	1	0	0	0	0	0	2
60歳代	1	0	2	0	0	0	1	0	4
70歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	1
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	5	0	4	2	0	2	1	0	14

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および年度別事故発生件数(表2)

表2 はしご・脚立の県別および年度別事故発生件数(2017～2021年度)(単位:件)

事故発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2017年	1	0	0	1	0	0	0	0	2
(はしご)	(1)	60代以上		(1)					(2)
(脚立)									(0)
2018年	3	0	1	0	0	2	1	0	7
(はしご)	(1)		(1)	60代以上		(1)	(1)	60代以上	(4)
(脚立)	(2)	内1件は60代以上				(1)			(3)
2019年	0	0	2	1	0	0	0	0	3
(はしご)				(1)					(1)
(脚立)			(2)	内1件は60代以上					(2)
2020年	1	0	0	0	0	0	0	0	1
(はしご)									(0)
(脚立)	(1)								(1)
2021年	0	0	1	0	0	0	0	0	1
(はしご)									(0)
(脚立)			(1)						(1)
合計	5	0	4	2	0	2	1	0	14
(はしご)	(2)	(0)	(1)	(2)	(0)	(1)	(1)	(0)	(7)
(脚立)	(3)	(0)	(3)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(7)

(3) 県別および被害状況別事故発生件数（表 3）

表 3 はしご・脚立の県別および被害状況別事故発生件数（2017～2021 年度）（単位：件）

被害状況別	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
はしご	2	1	2			1	1		7
（重傷）		内 1 件は 60 代以上		(1)			(1)		(2)
（軽傷）	(2)		(1)	(1)		(1)		60 代以上	(5)
脚立	3	3		60 代以上		1			7
（重傷）	(1)	内 1 件は 60 代以上		内 1 件は 60 代以上					(1)
（軽傷）	(2)		(3)			(1)			(6)
合計	5	0	4	2	0	2	1	0	14
（重傷）	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(3)
（軽傷）	(4)	(0)	(4)	(1)	(0)	(2)	(0)	(0)	(11)

(4) 県別および原因別事故発生件数（表 4）

表 4 はしご・脚立の県別および原因別事故発生件数（2017～2021 年度）（単位：件）

原因別	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
誤使用や不注意	4		2			1			7
（20歳代）						(1)			(1)
（30歳代）	(1)								(1)
（50歳代）	(1)								(1)
（60歳代）	(1)		(2)						(3)
（70歳代）	(1)								(1)
偶発的	1		1	1			1		4
（40歳代）				(1)					(1)
（50歳代）			(1)						(1)
（60歳代）							(1)		(1)
（不明）	(1)								(1)
原因不明			1			1			2
（30歳代）			(1)			(1)			(2)
製品の不良や劣化				1					1
（40歳代）				(1)					(1)
合計	5		4	2		2	1		14

2. はしご・脚立の事故事例

(1) 2018 年 07 月（福岡県、70 歳代・男性、軽傷）

【事故の内容】

はしご兼用脚立を脚立状態で使用中、転倒して打撲を負った。

【事故の原因】

両側の開き止め金具を掛けず製品を背にした姿勢で踏みざんに乗って作業をしていた際、バランスを崩して転倒し、脚立の上に落下して支柱が曲がったものと推定される。

(2) 2019 年 10 月（長崎県、60 歳代・男性、軽傷）

【事故の内容】

脚立を使用中、後支柱が折れて転倒し、軽傷を負った。

【事故の原因】

傾斜のある柔らかい土の上で三脚脚立を使用中にバランスを崩し、脚立が転倒するとともに、転倒した脚立の後支柱に身体があたったものと推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28

独立行政法人製品評価技術基盤機構

九州支所 担当者 篠崎

電話:092-551-1315 FAX:092-551-1329